

令和7年 第4回流通・企画部会運営委員会 議事録

日 時 令和7年11月10日(月) 11:00～
場 所 熊本県自動車会館 3階 特別室
出席者 齊藤 賢司担当理事
吉村 仁志運営委員長 竹尾 博幸副運営委員長 米倉 潤二副運営委員長
齊藤 博委員 松本 圭介委員 佐藤 修平委員 中原 祐一委員
久間 勝史委員(代理)
事務局 松本 伸二専務 桑原 文武次長 住本 未佳課長
東京海上日動火災保険株式会社
営業推進部 モビリティ室ユニットリーダー 遠藤 崇史様
熊本支店自動車営業支社 支社長 佐藤 宣任様
熊本支店自動車営業支社 支社長代理 山本 達郎様

○吉村運営委員長議事進行

○齊藤担当理事挨拶

おはようございます。流通・企画部会運営委員会にお集まり頂き、有難うございます。

まずは、先日開催されました中古車フェスティバルについて、各社水害によるタマ不足の中、大変すばらしい実績を残して頂き、有難うございます。

本日の議題の1つ目は、東京海上様と一緒に、CO2排出量の見える化を始めて3年目となり、熊本県は他県に先行した取り組みをしています。今日は、今年のデータがまとまりましたので、皆さんで共有して頂くのが1つ。

もう1つの議題は、本年度、新たに流通・企画部会が立ち上がり、新しい部会でのミッションとして、「県内における販売店のあるべき姿」という視点で、今後どういうディーラーになっていくべきか、長い目線で、皆さんからの色々な意見をディスカッション交え、話し合いが出来たらと思いますので、よろしくお願い致します。

議題1、カーボンニュートラルの分析結果報告について

講師 東京海上日動火災保険株式会社

前半:熊本支店 自動車営業支社 支社長 佐藤 宣人 様

後半:営業推進部 モビリティ室 ユニットリーダー 遠藤 崇史 様

「熊本県新車販売におけるカーボンニュートラルの取り組み」

※詳細は配布資料参照(社外秘:取り扱い注意)

○意見交換(カーボンニュートラルについて) ※二人組によるディスカッション

- ・EVについて、普通車、軽、トラックにもEVがある。小型トラックの平均航続距離は200Km程である。
- ・BEV等の充電設備を含めた商品研修はどうしているか？
メーカーによる動画研修等。
- ・独自に勉強したり、新たな商品知識を身につけていくのが不安に思える。

- ・社内のカーボンニュートラルスタディチームにおいて、電気の使用量を店舗ごとのゼロボード等で調査しているが、昨今の猛暑で Co2の削減にはなっていないのではと不安。自動車業界として、出来ることは行うが、このままでは将来が不安である。設備回りや、工場内の空調(冷暖房)など、社員満足度を上げると、コストも上がる。電力含め、外壁塗装など補助金を上手く使い、段階的に取り組んでいる。

議題2、流通・企画部会の今後の活動について

今後の流通・企画部会の目指すべき姿を、東京海上さんにご教授願いたい。

新たな部会と今後やっていく事について、まずは現在、社内で行われている事など情報提供をして頂きたい。

○意見交換(取り組み事例等)

- ・山都町の田植え、稲刈り、天日干しと、1年を通じて子供たちに食育と地域の大変さを体験してもらう事を目的として実施している。
- ・「モビリティショー」、老若男女問わず、あれだけの人が集まるという事は、車は「夢のある乗り物」なんだと実感した。
- ・郡部に住む高齢者を対象に、安全運転講習を実施。過疎で整備工場が無い状況の中、なんとか繋がりを持って、フォロー(支援)を行っていきたい。
- ・メーカーと販売店で災害時等、市町村にEVの無料貸し出しを行っている。
- ・Q: 田植え等の実施時間については、どうされているのか?
A1: 勤務時間内(お客様対応、新入社員参加)で実施。
A2: ボランティア(希望者)を募っての対応。
- ・各県において「ビーチクリーン」(海岸清掃)を実施している。
- ・イベント時に大型トラックを持ち込み、試乗(運転席に)してもらう。そこから、物流とは何か、等、興味を持ってもらえる啓蒙活動を実施している。
- ・田植え、キッズエンジニア体験を実施している。
- ・今後の部会活動について、数多くの店舗があり、いろんな地域がある。拠点で出来ること、例えば、夏には熱中症対策(クールスポット)設定など、県下、店舗全体で取り組める事を考える。そしてやってみる。
- ・東京海上様へ。リクエスト: CO2排出量の乗用車だけのデータが欲しい。熊本県としてカーボンニュートラルの啓蒙活動をしていく中で、一般の方(乗用車)だけのデータが欲しい。
- ・3年~取り組んだデータをどうするか。CO2削減にお客様も貢献してます、という事の打ち出し方のアイデアが欲しい。中古車フェスティバル、サポカー体感・体験試乗会、新車合同CPや各社のHPで広めるのも大事なことは勿論だが。
- ・PHEVとEVを別項目で分けて欲しい。各社、電気自動車(全体)比率を何%にもっていったらいいのか。目標(マイルストーン等)を設定すべきでは。 ※事務局、目標確認

議題3、その他

- 1) 公取協より新車販売における「不適切な販売方法」と「適切な販売方法」について事務局より、資料を基に説明。

代表者例会の資料にてもお配りしましたが、新車販売時の抱き合わせ販売、人気車種の割

賦のみの販売等、違反事例です。店舗へも展開をお願いします。

2)「ジャパンモビリティショー福岡 2025」広報ご協力、前売り入場券の案内について

名 称 ジャパンモビリティショー福岡 2025

期 日 2025年12月18日(木)～21日(日)開催

会 場 マリンメッセ福岡A館・B館

入場料 一般 2,000 円(前売り 1,800 円 大学生・専門学校生 1,200 円(前売り 1,000 円)

※高校生以下無料

団体割引料金 一般前売り 1,650 円 大学生・専門学生 900 円

①買取清算 ②委託・後日清算 ……詳細パンフレット参照

4)各指標について

① 新車新規OSS登録台数一覧表(1～10月) 10月は58.8%、全国は70%超え

② OSS継続検査一覧表(1～10月)

③ 新車登録下旬比率一覧表(1～10月) 熊本はワースト1位

④ 新車登録月末4日間比率一覧表(1～10月)

⑤ 販社別登録書類完備率(10月)

⑥ 販社別登録書類完備率(1～10月)

⑦ 検査ライン代行依頼件数(1～10月)

⑧ 新車諸費用の事前徴収率(1～9月)

⑨ 不保率調査一覧表(1～9月)

○ 次回開催予定 令和7年12月5日(金)18時00分～ ホテル日航熊本5階「肥後」
流通・企画部会、正・副会員出席

以上で、第4回 流通・企画部会運営委員会を終了した。